

園長 だより

No.9

「保育参観保護者感想・1年間(3年間)の思い出」

園長 小林 淳一

保護者感想をありがとうございます。3年間、子供たちが大きく成長したことがうかがえ嬉しく思いました。卒園しても、ふるさとアソカ幼稚園は、この地にいつまでも変わらずあります。いつでも遊びに来てください。

* 保育参観保護者感想(一部抜粋)

〇年長組

★卒園公演「月のうさぎ」感想

・一ヶ月の練習、お休みの子も多い中、最後には全員揃って演技できたことに本当に感動した。コーラスも楽しかった。「月のうさぎ」に込められたメッセージを心に刻んで、くれたことと思う。「命」「生きること」「友達」「困っている人を助ける優しさ」難しいこともあると思うが、少しずつでも、自分の力にして自信を持って小学生になってくれたら良いと思う。



・今年は、かぜやインフルエンザ等で欠席者も多く、練習がとても大変だったと聞いていた。リハーサル当日も3名欠席だったとのことだが、欠席者がいることは後々知った。すごいと思ったのは、ここだ。欠員がいることを気付かせない演技力というか…。本来ならセリフも抜けていただろうし、多少の戸惑いもあったはず、にもかかわらず迷うことなく堂々とはっきりとセリフをいい、とても楽しそうに演じていた年長みんなに感動した。少し前に観た劇遊びの時より、は

るかに大きく成長した姿をみせていただいた。それぞれの個性を生かしたとても良い公演になった。

・コーラスとの合同練習で、練習風景を見て「すごい」と思った。先生たちの気迫に満ちた指導、本格的だった。子どもたちもいつもになく真剣に取り組んでいた。リハーサル何時間も前に小学校に集まり練習していた。美和子先生が、「月のうさぎ通信」に練習しすぎを心配したが取り越し苦労だったというコメントを記載されていたが、本当にその通り！子どもたちは、月のうさぎの練習も遊びの一つとして楽しんでいるようだ。

・かぜやインフルエンザ等で休むことが多く、自分がやりたいと思っていた役ができず、劇に身が入らないのではないかと心配していたが、練習しているうちに楽しくなってきた

ようで、家でも沢山練習していた。本番では堂々と自分のセリフを言ったりダンスをしたりとよく頑張ったなあと考えた。

・インフルエンザ大流行、娘もインフル休み中は、お布団の上でカワウソダンスを自ら練習していた。リハーサル前夜「ちゃんとできるかとっても心配」と言っていたが、大きな声で自分のセリフと当日朝に振り分けられた休みのセリフ、ダンス、長いお休みをしたにも関わらず、立派に演じていて、成長を感じた。本番直前これが終わるといよいよ卒園、始まると同時にそんなことを思い淋しい気持ちになってしまった。全員揃って出ることができてよかった。

・今年初のコーラスにも参加でき、感動はひとしおだった。本番は、子どもたちの姿にとっても感動した。

・年明け早々から月のうさぎの練習が始まるとのことだったが、始業式の前日から体調を崩して休んでいた息子。一週間ほど遅れて練習に参加し、ようやく練習ができた



と本人も張り切るなか、次はインフルエンザになってしまった。お休みが多かった分不安が大きく、ここから、本番当日までは、何とか元気に練習に参加してほしいと願っていた。そして、リハーサル、本番を迎えることができた。観た感想はとてもかわいかった。そして感動した。私が想像していた以上に一生懸命頑張っている姿を観たら、胸を打たれ、子どもの成長を感じた。それにプラスで生演奏、コーラスととても素敵な劇だった。

・感動した。一ヶ月という短い期間でこれほどの仕上がりを見せてくれた子どもたちは本当によく頑張ったと思う。日曜日に全員が揃って本当によかったと思う。子どもたちの演技をしっかりと目で見ることの大切さは理解する。撮影禁止ということも納得した。

・年少からずっと一緒の子どもたち。みんなが我が子のように成長して、生き生きしていた。とにかくかわいくて、かっよくて、お兄さんお姉さんに見えた。子役かなと思うほど、感情込めてセリフをいっている子もいて驚いた。

・「月のうさぎ通信」はどのように練習しているのか、子どもたちの様子が伝わってくるので、とてもうれしかった。今年はずっと以上にインフルエンザが流行してしまい、練習で全員が揃うことがなく、親としても心配していた。日曜日に全員揃った時は本当にうれしかった。一人足りない、二人足りない状況で練習してきた成果は、十分に出ていた。うちの子は、リズム感が多少悪く、ダンスを含めて心配が色々あった。覚えも多少悪いと思うが、あきらめずに指導していただいた。心に残る卒園公演になった。

・家では、練習内容をあまり話してくれず、不安があったが、お便りで、各役の様子を細かく知ることが出来てとてもよかった。苦手の動きがあるようで、パパからコツを教えてもらい、すぐ出来る様になり、自信が付いたようで少しだけ、踊りを披露してくれた。先生方にも「とてもよく出来ている」「人が変わったようだ」と言ってもらい、私も安心し、本番がとても楽しみになった。本番では体調が今一で力の入った踊りが観られなく

とても残念だったが、最後までやり抜いてくれたこと、みんなと一緒に作品を完成させたことにとても感動させてもらった。

・楽しみにしていた「月のうさぎ」の公演。去年の年長さんの様子を見て、今年は自分の子が長いミュージカルをセリフや立ち位置を覚え、できるのか少々不安に思っていたが、



今年のきく組さんも、とっても素晴らしい「月のうさぎ」だった。役割も沢山あり、セリフや踊り、さぞかし先生方は大変だったかと思う。本人は緊張ひとつせず「がんばったよ」とけろっとして帰ってきた。観ていた私は成長を感じ、感動の連続だった。幼稚園に入園して3年「いのちの大切さ」を教わり、この劇が集大成だと思っている。この劇を通じて、「いのちの大切さ」がずっと心に残るといいなと思う。

・恥ずかしがり屋の息子は、役を演じるのが嫌らしく、寝る時間近くなるとため

息をして、毎朝、腹痛になり幼稚園入口付近で涙目で手を振る日々だった。しかし当日はしっかり役を演じることができ、最後のセリフの「お姉ちゃんもいた」には、お姉ちゃんも嬉しかった様子だった。

・毎日お休みが多いなかでの練習は、とても大変だったと思う。娘もインフルエンザに2回かかり、二週間お休みしてしまった。そのせいか「失敗したらどうしよう。間違えたら怒られるかな、幼稚園行きたくないなあ...」と泣き出してすっかり自信をなくしてしまったようだ。しかし、その旨を先生に伝えたところ、沢山褒めてくださったり、何度も指導して下さったりしたようで、日に日に自信をつけていく様子が分かった。家でも沢山自主練をしていた。失敗しても大丈夫と毎日励ました。そして本番、どの子も堂々としていて、素晴らしい公演だった。最後の最後に全員が揃うことが出来てとても嬉しかった。

・幼稚園から帰ってくると、毎日今日はお休みが何人だった。○○ちゃんもお休みになっちゃったんだよ...、大丈夫かな、と心配していた息子もついにインフルエンザにかかり一週間お休みする事になってしまった。本番初めて全員揃ったことが親子で何よりも嬉しく喜んだ。緊張する息子を観て緊張する私。大舞台で沢山の観客がいるなかで、大きな声でセリフを言い、指先まできれいに手を伸ばしダンスする姿練習の成果が出てとても素晴らしかった。

・まさか、まさかのインフルエンザAに最後の最後にかかってしまうなんて...。「月のうさぎ、出られないよ。たくさん練習したのにごめんね。」と私が号泣して伝えると「マミのせいじゃないよ。」と涙一つも見せずに、大人の対応に更に泣いてしまった。しかし、何とか本番に間に合った、ぶっつけ本番にも関わらず、あんなに楽しそうに、笑顔で出来て、本当によかった。と涙が止まらなかった。コーラスにも初めて参加し、美和子先生に毎日声をかけてもらってあのとき勇気を出して、「やる！」と言えて良かった。

・インフルエンザが流行して、時間も少なかったのに、ダンスやセリフを上手に言えていて成長を感じた。土曜日のリハーサルでは、数人のお休みの子がいて、心配していたが本番は全員出席で月のうさぎを終えることが出来て本当によかった。

・とっても良かった。立派なトラさん！ちょっと生意気な感じがかわいくてぴったりの役だった。全員揃って劇が出来て良かった。本当に成長した。感動して涙が出た。

・全員が揃ったのが、本番の日というなかで、きく組さん全員元気に楽しそうに演じていて、我が子の出演は今回で最後だが、今回の月のうさぎ、本当に感動しました。本番、数日前に体調を崩して月のうさぎに出られないかも...となった時、しくしく泣き出し、「シカさんやりた

い！」と長時間泣いている我が子を見て、年少さんでは幼稚園に行きたくないと泣いていた子と思えない位、成長を感じ、思い入れの強さに心を打たれ、私も泣いてしまった。体調が悪くても本人が大丈夫なら、とお氣遣いしてくださった先生方、出演できて本当によかった。

・12月に配役が発表されてから、ずっと楽しみにしてきた、月のうさぎだった。本人は幼稚園でダンスの練習をするのがとても楽しいようで、家に帰ってからも、「これがooのダンスだよ」「ooはこんなポーズをするんだよ」と得意気に見せてくれた。本番はきく組さんみんなが、とても楽しそうに踊ったり、演じたりしている姿が印象的だった。

・お休みの子が多くて、今年に限ってインフルエンザがこんなに流行してしまうなんて...、と心配だったが、そんなことを感じさせない子どもたち、劇遊びの時より更に堂々としていて、大きな声でセリフも言えていて、成長を感じた。コーラスに参加したので、家で一緒に歌ったり、歌詞を教えてもらったり、公演が近づくにつれ「月のうさぎ」一色の我が家だった。気がつけば、入園前の娘も歌を覚えていて一緒に歌っていた。劇の最後、遊び着を着て、並んだ子どもたちをみたら、みんな大きくなった姿に色々な思いがこみ上げてきて、涙が止まらなかった。

・練習が始まってから本番まで一ヶ月程あったが、その半分インフルエンザでお休みだった。特に二度目のお休みの時は練習に早く参加したくて泣いていた。焦りや不安がいっぱ



いあったようだが、音楽がかかるとよく踊っていてお休みしていたことも感じさせない位体が覚えていたようだ。本番ではクラス全員で素晴らしい月のうさぎが出来て、みんなの努力がたくさん詰まった卒園公演だったと思う。

・インフルエンザで沢山のお友達が代わる代わるお休みで「なってしまうのではないかな...」と直前までドキドキしていた。まだ一度もインフルエンザになっただけでいい娘。それが一番の自慢になっているようで、その自慢の鼻が折られなければいいかと、思っていた。毎日幼稚園で練習しているはずなのに、本番まで一度も「ないしょ」と見せてくれなかった。旅人の役にはダンスがないことを不満そうに言っていたが、本番はしっかりと落ち着いて役をこなす姿を見て成長したなと胸が熱くなった。

・去年の月のうさぎを観た時から、これを来年本当に出来るのだろうか？セリフを堂々と言えるだろうか？コーラスはどうする？一年も前から意識して過ごしてきた。劇遊びですら、次の月のうさぎに向けて、しっかりセリフと言えるのか心配して見てしまうほどだった。短い練習期間のなか、インフルエンザが大流行。娘も一週間のお休みであと何回かし練習できないと心配していたが、リハーサル、本番と無事に出演することができて、ダンスもセリフも堂々と披露する事ができた。コーラスにも参加する事になり、練習段階から涙だった。特にみちる先生の歌声には、涙をそそられた。先生方、子どもたち、コーラス、卒園生、観客、みんなの心が一つになって、月のうさぎが出来ていると心から思った。



たくさんの方に支えられてこんなに素晴らしい時間と心の共有が出来て有り難いと思った。ぜひ、次の代へ、つないでいってほしいと思う。

★3年間の思い出

・子どもは先生と踊ったたくさんのダンスがいつも楽しそうで、いつ見ても笑顔だったことが、とても印象的だった。

・3年間の行事の中で歌や演奏、ダンスや劇と体を使って表現したりするものに強く興味を持ち、生き生きと取り組んでいたように思う。

・泣きながら通った年少、お世話する楽しさを知った年中、家で過ごすよりも、幼稚園で過ごす一日が楽しくなってきた年長、一日一日どれも大切な日々だった。なかでもお泊まり保育は、親子共々大きく成長できたと思う。他の園でなくアソカ幼稚園で過ごせたこと、本当によかったと思う。

・お泊まり保育で、泣かずに夜寝られて、とても良かったと思う。今でも「お泊まり保育したい」と言い、とてもいい思い出ができたと思う。

・母はかなりの心配性...。三年間ずっと一緒に過ごしてきたお友達、みんなやさしくて、仲良くしてくれて内気な娘の手を取ってくれて、かけがいのない宝物。素敵な仲間のおかげで、毎日楽しく幼稚園に通うことができた。小学校へは、アソカから女子一人、これもまた心配だけど、みんなの様なやさしいお友達が沢山できると良いな。

・FaceBook で日々の様子を見られたのがとてもよかった。子どもが少しでも写ったりするととてもうれしかった。三年間で色々な行事があり、どれも楽しく参加出来た。気の合う友達もでき、本当によかった。年長では、特にお泊まり保育、運動会、劇遊び、月のうさぎが印象的だった。

・幼稚園に入ったときは、あまり表情を顔に出さなかった我が子が沢山笑ったり、怒ったりしていることが本当にうれしかった。親社会ではなく子ども社会だから、育った感情だと思う。

・3年を通して、普段の保育の様子を写真に撮り、掲示してくれたので、保育参観の時のように、親の目を気にしていないいつもの姿を観られるのがとても楽しみだった。

・年少時の劇が一番印象に残っている。まだまた、甘えん坊で、出来るのかが心配だったが、先生のご指導がよかったので、音楽に合わせて踊ったり、歌ったりしていることに成長を感じた。

・きく組さんが園外保育が多かったこと、よかったと思う。毎月の動物探検隊、一泊保育、子どもとの帰り道に子どもから感想を聞いた。仕事をしている関係で、なかなか参加出来る行事は多くなかったが、それでも、毎年2回の親子遠足は、どの年もよく覚えている。楽しかった。



・毎日、朝くじらで窓の所で手を振る息子。手を振り忘れると迎えに行くと「手を振ってもらえなかったから、今日一日つまらなかった」というので、年長の夏ぐらいまで、毎朝窓のところで手を振った。しかし、手を振る場所や時間が短いなど、文句ばかり。三年間手を振り続けてやる。指示通り毎朝手を振っていたが、「ママもう手を振るの下手で、苛々するから、手を振るのをやめる。」とまさかの残り半年で手を振る朝の週間が終わってしまった。

・幼稚園当初は、イスにじっと座っていることができないくらい、落ち着きのない娘だったが、この三年間で心も体も成長した。「いのち」のことを学んでいるせいか、生き物やいのちの重さについて興味を持つようになった。相手に思いやりを持てるようになった。また、劇遊び発表会や月のうさぎ公演で、人前で発表出来る自信を持てるようになった。この三年間で、私も子どもに育てられたように思う。

・年長になってから、連絡事項・お休みの人数、幼稚園での出来事を必ず伝えてくれるようになった。動物探検隊での観察したことを伝えるというのが、身についた証拠だと思う。ほがらか森・泣いた赤鬼・月のうさぎと、真剣に取組、自信が持てた事で、みんなの前で堂々と演じ、更に自信に繋がった。あんなに毎日泣いていた年少の頃がうそのように朝早く行きたい、くじらに行きたいと幼稚園が大好きになったことが何より嬉しい。

・三年間、いや六年間、ありがとうございました。あの時と変わっている所、変わってい

ない所、どちらも良いと思ったのは、常に子どもたちの事がよく分かる所だ。今は、沢山の写真で伝えてくれているが、あの時は写真はなかったが、先生たちが「今日は何々で...」と話して伝えてくれた。娘が年中の時に役員をやり、幼稚園での行事に関わる事が多くなり、幼稚園での生活が少し見られて、とても安心した。卒園まであと少しだが...毎日涙が出そうだ。

・きく組になって急にお兄さんになった気がする。11月の劇や月のうさぎでも大きな声でセリフを言う姿にいつの間にかこんなに大きくなったんだなあとしみじみと思った。



・年少から本当に成長した。三年間あっという間だったが、毎日元気いっぱい沢山の笑顔が見られて嬉しかった。

・上の子からお世話になって5年...。下の子の3年間では、曾祖母、祖母、祖父と三人もの大切な肉親を亡くした。アソカ幼稚園で学ばせて頂いて日々の感謝や、ご先祖様のこと、お誕生日での命のリレーの話、上の子の心に強く残って

いて、おじいちゃん、おばあちゃんがいてくれた感謝や、大切さ、自分が受け継いだバトンの重さ責任を、一生懸命、弟に説明していた。お誕生日に頂いた命のリレーの図を見ながら、その二人の姿とお式での静かに手を合わせ、式中ずっと祈っていた姿を見て、一番大切な事を教えて頂いたと美智子先生をはじめ、先生方に感謝の気持ちでいっぱいだ。

・自分のことをするのが精一杯だったたんぼぼさんからよくぞここまで成長したなあと思った。今では、小さな子の面倒まで見られる立派なお姉さんに！お友達や先生に沢山お世話になったからこそその事だと思う。

・息子にとって入園前から楽しみでたまらなかった幼稚園。あっという間に三年が過ぎてしまって今は卒園する事がさびしくてたまらない。おもちゃを片付けなかったり、言うことを聞かなかったりした時は、「もう幼稚園に行けないよ」と言うと、「やだー」と慌てて動き出す毎日だった。熱やかぜでお休みする時は泣いて残念がって、年少年中で少し不安定になってしまった時期も「幼稚園に行きたくない」とは一度も言わなくて、息子は本当に幼稚園が大好きだった。夏祭り、運動会のお手伝いや親子遠足など、親も一緒に色々な行事に参加させて頂いて、素敵なお友達、家族にも出会えて、家族みんなで楽しんだ三

年間だった。幼稚園がこんなにも楽しいと思わなかった。アソカ幼稚園が大好きだ。

・動物探検隊が始まってから毎月のテーマについて、家でも一緒に生き物について考える時間が増えてとても良い活動だなと思った。夏のシーパラダイスでの食育体験の後も食べ物を食べる感謝の意識が変わり、とっても素敵な体験をしてきたんだなと思った。

・三年間で大きく成長したなと思う。アソカ幼稚園の事が大好きなようだ。どんな日も笑顔を見せてくださる先生たちに感謝する。里帰り出産や旅行など親の都合で休ませてしまうことが多かったが、風邪やお熱などの体調不良で園を休む事は、三年間なかった。小学校では皆勤賞を目指させてあげたい。

・娘は、幼稚園が大好きで三年間で一度も行きたくないと言ったことがない。お休みの日ですら、明日幼稚園？と聞いてくるほど、休みも入らないくらい大好きだった。一生懸命、耳を傾け手厚いお世話をしてくださった、みちる先生や補助の先生方。活発な娘の気持ちを汲みとって来て理解してくれた、つばさ先生。いつも大きな心で子どもたち、親の心まで支えてくださった、美和子先生。毎朝門に立って大きな声であいさつ、一人ひとりの様子を気をかけ、全員に気を配ってくださる園長先生。思い出は山ほどあるがアソカ幼稚園で過ごした三年間は本当に楽しくあつという間だった。

★大鳥小学校 大鳥キッズ

・幼稚園生全員が言葉やダンスがはっきりしていて、わかりやすかった。それに、みんなのいきが合っていて、今何をやっているのか、どんなことをやっているのかが、わかりやすかった。知らないことが知れて良かった。とても面白く楽しいお話で、自分もやって見たい。もう一回観たい。（3年女子）

・うさぎが人間を心配して、食べ物を一生懸命探したり「自分を食べてください」とそれほど人間を思っていることが伝わってきた。ほかのトラやネズミも、協力して探していたので、みんなの優しさが伝わってきた。森の動物たちは仲がよかった。動物たちはもっと仲がよくなって、もっと色々なことが出来る様になると思う。その動物たちのように私ももっと色々なことが出来る様になりたい。そのために、もっと他の人の気持ちを考えるようにしたい。月のうさぎを観て、色々なことが分かった。そして、「優しい気持ち」も分かっていたのでうれしかった。（3年女子）

・トラは最初、みんなにいじわるをしていたけど、最後に人間にやさしくしたり、リスたちにもやさしくしていたのでよかった。全部のセリフを忘れずに、他の仲間に合わせて言ったりしていたので、何度も練習していたんだな～と思った。最後は、うさぎが月に助けてもらっていたのでよかった。また、アソカ幼稚園の月のうさぎを観たい。（3年女子）

・私は、幼稚園が和光幼稚園だったので、なつかしかった。すごく上手だった。（3年女子）

・私は初めて月のうさぎを観た。幼稚園の子どもたちが色々な動物を演じていて、すごいなと思った。また。ダンスや歌、セリフを言えてすごいなと思った。また、月のうさぎを観てみたい。（5年女子）

- ・すごく楽しくうれしかった。感激したところもあったけど、すごくわくわくしてすごく楽しかった。歌も上手に歌っていた。セリフも上手ですごいなと思った。1年生より上手いと思う。(1年男子)
- ・このショーは面白かった。また観てみたい。そしてボクもやって見たい。うさぎさんがかわいそうだった。(1年男子)
- ・色々な動物が出てきて、楽しかった。(2年女子)
- ・みんな、自分が言う言葉を覚えていて、とてもすごいなと思った。とてもかわいくて上手だった。(2年女子)
- ・最初、なんで月のうさぎなのかなと思ったが、月のうさぎを観て分かった。来年も観てみたい。(2年男子)
- ・劇がすごく楽しかった。また、観たい。(1年男子)
- ・うさぎさんが死んだのは、悲しかった。うさぎさんはやさしいと思った。(2年男子)